

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月29日

上場会社名 マックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6454 URL <https://www.max-ltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒 沢 光 照

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 北 谷 明 雄

TEL 03-3669-8106

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・ファンドマネージャ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,574	15.5	1,439	27.3	1,461	22.7	1,096	22.9
2020年3月期第1四半期	17,249	2.3	1,979	19.9	1,891	5.4	1,421	13.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,412百万円 (66.4%) 2020年3月期第1四半期 848百万円 (36.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	22.43	
2020年3月期第1四半期	29.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	97,385	75,135	77.1	1,534.29
2020年3月期	99,378	75,972	76.3	1,551.34

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 75,038百万円 2020年3月期 75,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				46.00	46.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,800	14.6	2,550	37.3	2,570	34.3	1,880	34.2	38.44
通期	63,500	8.9	5,700	24.9	5,800	21.7	4,200	23.8	85.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	49,141,426 株	2020年3月期	49,141,426 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	234,294 株	2020年3月期	234,263 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	48,907,152 株	2020年3月期1Q	48,907,641 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	15
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	15
(セグメント情報等)	15

[定性的情報・財務諸表等]

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 第1四半期連結累計期間の全社業績

(単位:百万円、%)

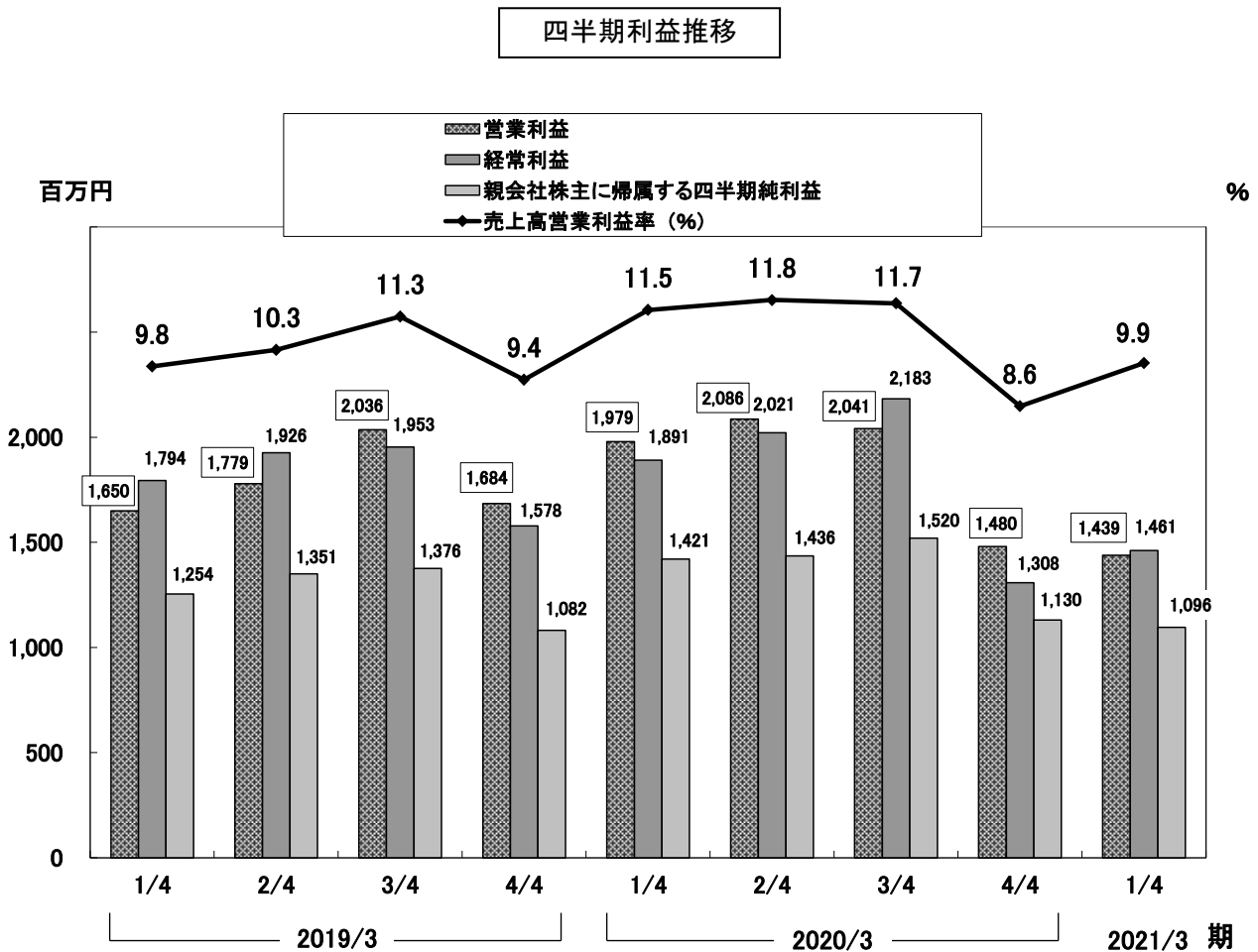
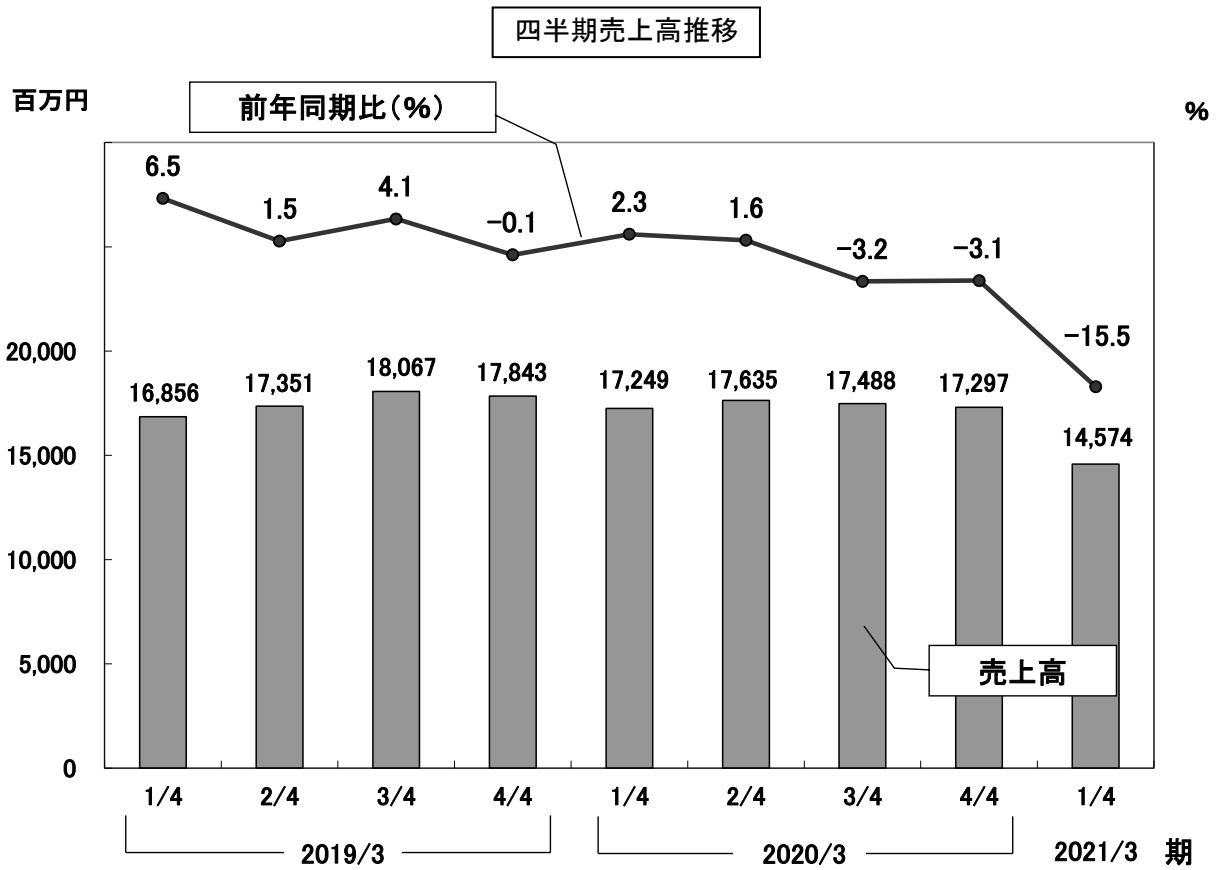
	当期 (2021年3月期)	前期 (2020年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	14,574	17,249	△2,674	△15.5
営業利益	1,439	1,979	△539	△27.3
経常利益	1,461	1,891	△429	△22.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,096	1,421	△324	△22.9
1株当たり四半期純利益	22.43	29.07	△6.64円	—
営業利益率	9.9	11.5	△1.6ポイント	

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う輸出の減少や、緊急事態宣言を背景とした個人消費の落ち込みなど、非常に厳しい状況となりました。また海外経済においても、多くの国や地域で外出規制など行動制限が実施され、景気は悪化しました。

当社インダストリアル機器部門に関連する住宅市場は、貸家や持家の着工戸数が減少し、国内新設住宅着工戸数が減少しました。

国内外の経済活動は段階的に再開しているものの、新型コロナウイルス感染症による企業収益の悪化や感染第2波への懸念から、先行き不透明な情勢は今後も続くことが想定され、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が継続すると見込まれます。

このような状況の下で、売上高は145億7千4百万円(前年同期比15.5%の減収)、営業利益は14億3千9百万円(同27.3%の減益)となりました。経常利益は14億6千1百万円(同22.7%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億9千6百万円(同22.9%の減益)となりました。



②第1四半期連結累計期間の部門別業績

『オフィス機器部門』

(単位：百万円、%)

	当期 (2021年3月期)	前期 (2020年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	4,156	5,570	△1,414	△25.4
セグメント利益	732	1,345	△613	△45.6
セグメント利益率	17.6	24.2	△6.6ポイント	

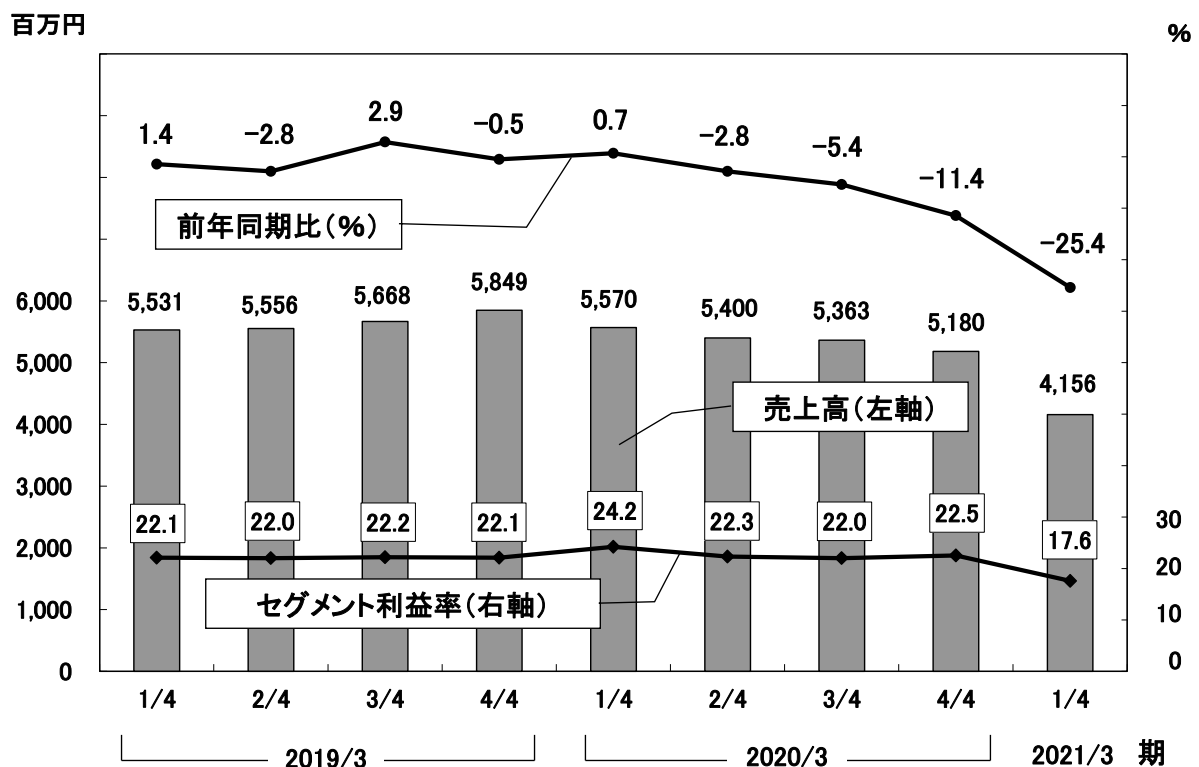
オフィス機器部門は、売上高41億5千6百万円（前年同期比25.4%の減収）、セグメント利益は7億3千2百万円（同45.6%の減益）、セグメント利益率は17.6%となりました。

「国内オフィス事業」は、展示会の中止や提案活動の停滞などにより、チューブマーカー「レタツイン」や表示作成機「ビーポップ（Be pop）」の販売が減少しました。加えて、文具関連製品の販売も減少し、減収となりました。

「海外オフィス事業」は、各国の外出規制等に伴う経済活動の停滞により、アジア市場を中心に文具関連製品などの販売が減少し、減収となりました。

「オートステープラ事業」は、複写機市場が低調に推移したことで、機械及び消耗品の販売が減少し、減収となりました。

オフィス機器部門売上高推移



『インダストリアル機器部門』

(単位：百万円、%)

	当期 (2021年3月期)	前期 (2020年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	9,831	10,984	△1,152	△10.5
セグメント利益	1,349	1,354	△4	△0.4
セグメント利益率	13.7	12.3	+1.4ポイント	

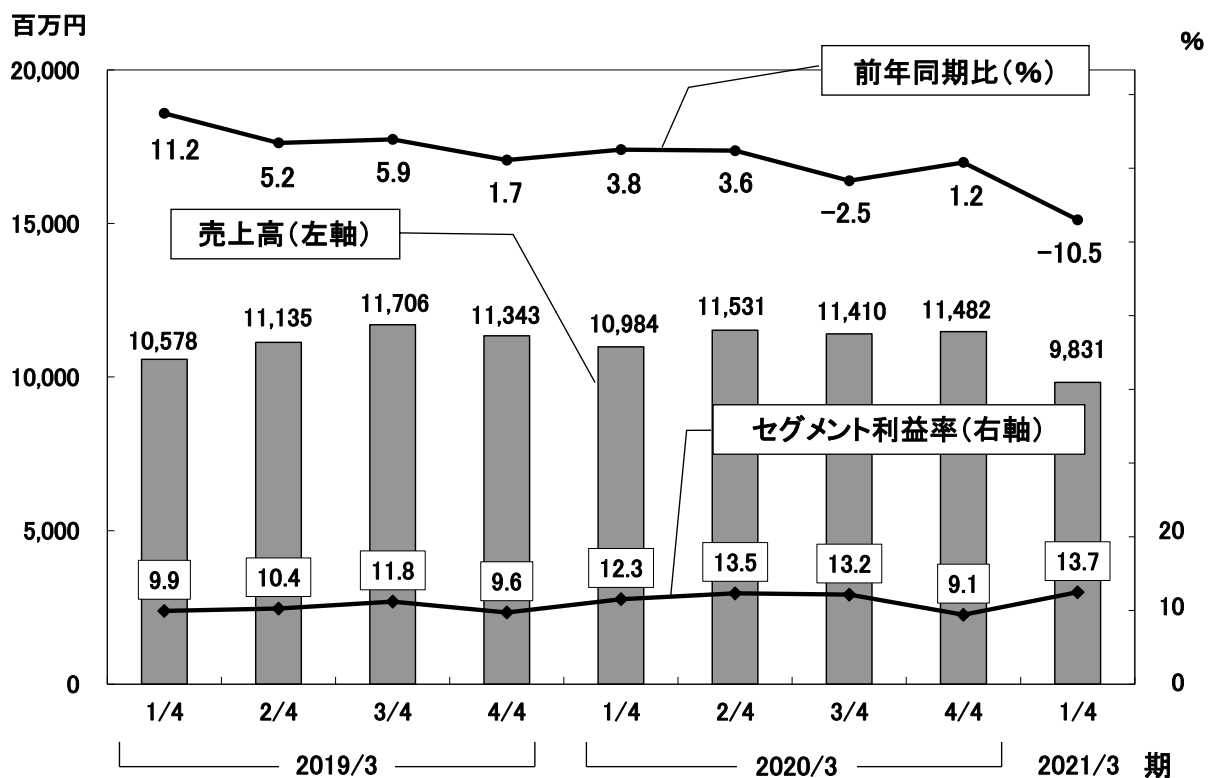
インダストリアル機器部門は、売上高98億3千1百万円（前年同期比10.5%の減収）、セグメント利益は13億4千9百万円（同0.4%の減益）、セグメント利益率は13.7%となりました。

「国内機工品事業」は、鉄筋結束機「ツインタイア」の専用消耗品の販売が継続して伸長したものの、国内新設住宅着工戸数の減少や販売活動の停滞により、木造建築物向け工具の販売が減少し、事業全体では減収となりました。

「海外機工品事業」は、欧米地域の外出規制等の影響により販売活動が停滞し、木造建築物向け工具や鉄筋結束機等のコンクリート構造物向け工具の販売が減少し、減収となりました。

「住環境機器事業」は、換気システムの販売が減少したことに加え、国内新設住宅着工戸数の減少により、浴室暖房換気乾燥機の販売が戸建て住宅等の新築物件向けで減少し、減収となりました。

インダストリアル機器部門売上高推移



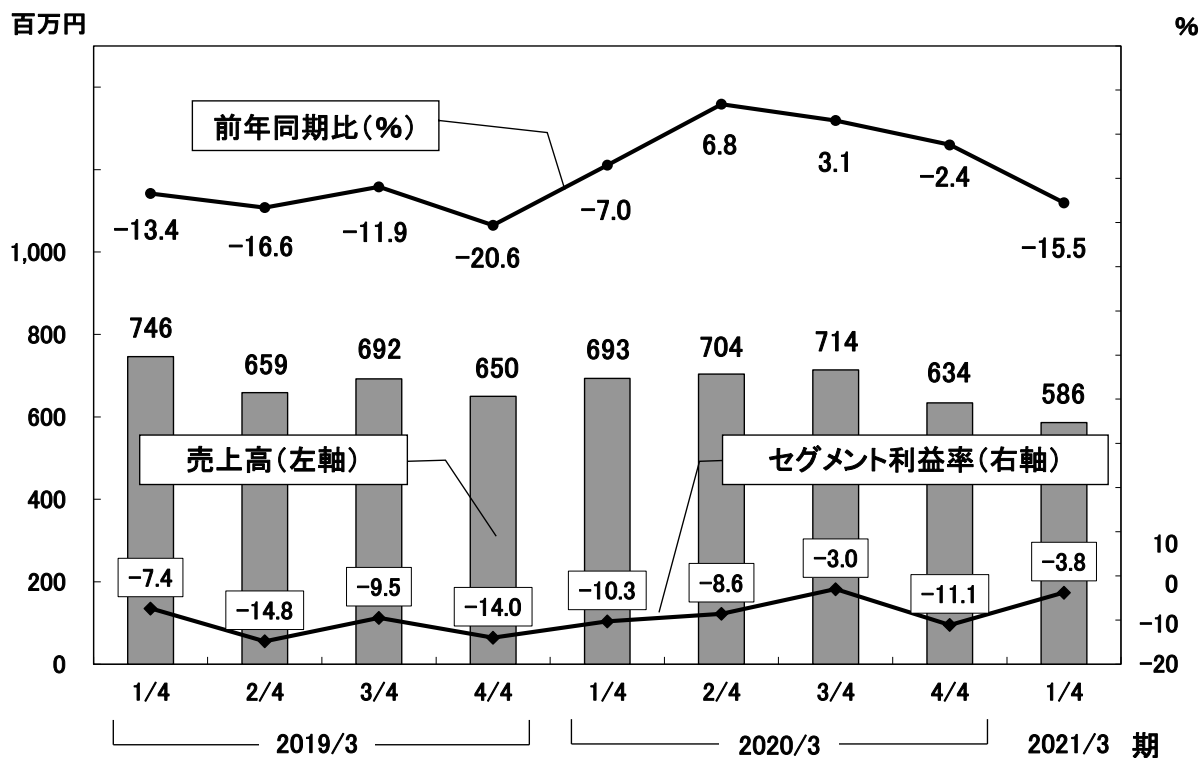
『HCR機器部門』

(単位：百万円、%)

	当期 (2021年3月期)	前期 (2020年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	586	693	△107	△15.5
セグメント利益	△22	△71	+49	—
セグメント利益率	△3.8	△10.3	+6.5ポイント	

HCR機器部門は、医療・介護福祉施設への訪問件数が減少したことにより、主力の車いすの販売が低調に推移しましたが、固定費の削減等を進めた結果、売上高5億8千6百万円（前年同期比15.5%の減収）、セグメント利益は△2千2百万円となりました。

HCR機器部門売上高推移



(2) 財政状態に関する説明

連結貸借対照表 要約

(単位：百万円、%)

	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	前連結会計年度 (2020年3月31日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率
総資産	97,385	99,378	△1,993	△2.0
純資産	75,135	75,972	△837	△1.1
自己資本比率	77.1	76.3	+0.8ポイント	

資産の部は、前連結会計年度末に比べ、19億9千3百万円減少し、973億8千5百万円となりました。流動資産については、受取手形及び売掛金が21億9千3百万円、現金及び預金が9億8千5百万円減少したことなどにより、17億6千4百万円減少しました。固定資産については、投資有価証券が8億9千8百万円減少したことなどにより、2億2千9百万円減少しました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ、11億5千6百万円減少し、222億4千9百万円となりました。流動負債については、賞与引当金が9億4千4百万円減少したことなどにより、10億2千6百万円減少しました。固定負債については、退職給付に係る負債が1億1千万円減少したことなどにより、1億2千9百万円減少しました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ、8億3千7百万円減少し、751億3千5百万円となりました。株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益が10億9千6百万円ありましたが、配当金の支払22億4千9百万円などがあったため、11億5千2百万円の減少となりました。

その他の包括利益累計額については、その他有価証券評価差額金が1億5千9百万円増加したことなどにより、3億1千9百万円増加しました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が9億9千6百万円減少したことにより、208億6千4百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、22億2千8百万円となりました。主な増加は売上債権の増減額が22億7百万円、税金等調整前四半期純利益が15億1千6百万円、一方で主な減少は、賞与引当金の増減額が9億4千4百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、8億7千8百万円となりました。主な減少は、有形固定資産の取得による支出が13億4千8百万円、一方で主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が5億円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、23億1千3百万円となりました。主な減少は、配当金の支払額が22億4千8百万円です。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により合理的に算定することが困難であったため、未定としておりましたが、日本および世界各国における経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束は見通せないものの、再度の緊急事態宣言の発令などは想定しておりません。

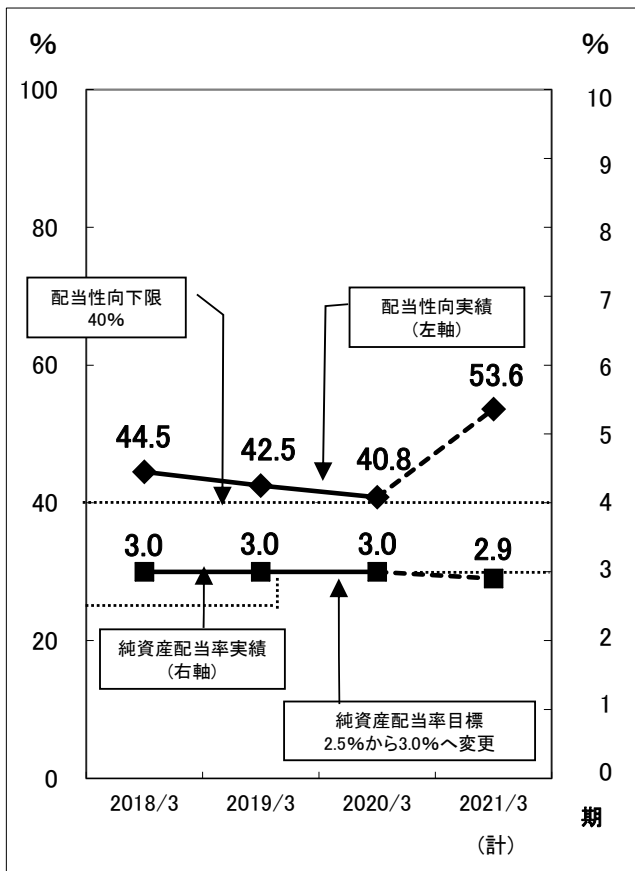
詳細につきましては、2020年7月29日に公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

配当の状況

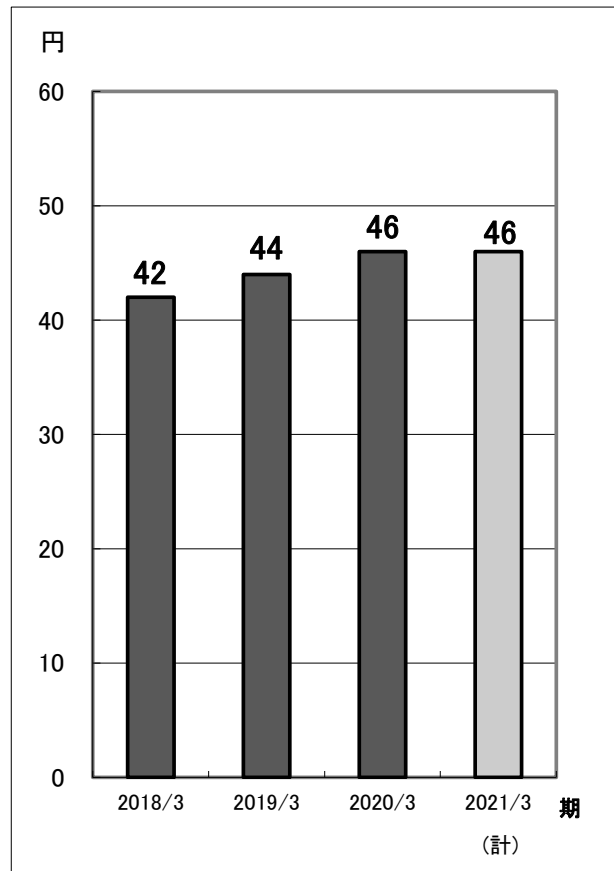
当社の配当方針は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率3.0%を目指す」を基本方針としております。

当期は、先行き不透明な経済環境や為替動向などが当社業績に影響を及ぼす可能性があります、前期と同様の「1株当たり年間配当金46円」とする予定です。

配当性向及び純資産配当率



1株当たり配当金



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,849	20,864
受取手形及び売掛金	13,526	11,332
有価証券	2,805	3,410
商品及び製品	6,091	6,914
仕掛品	858	684
原材料	1,025	1,013
その他	780	953
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	46,937	45,173
固定資産		
有形固定資産	19,649	20,440
無形固定資産	316	329
投資その他の資産		
投資有価証券	27,319	26,421
その他	5,161	5,026
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	32,474	31,441
固定資産合計	52,441	52,211
資産合計	99,378	97,385
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,136	2,831
短期借入金	1,850	1,850
未払法人税等	841	980
賞与引当金	1,730	786
役員賞与引当金	44	10
製品保証引当金	87	82
その他	3,873	3,995
流動負債合計	11,563	10,537
固定負債		
長期借入金	150	150
製品保証引当金	13	12
退職給付に係る負債	10,661	10,551
資産除去債務	30	30
その他	987	968
固定負債合計	11,842	11,712
負債合計	23,406	22,249

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,367	12,367
資本剰余金	10,518	10,518
利益剰余金	54,891	53,738
自己株式	△320	△320
株主資本合計	77,456	76,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361	520
土地再評価差額金	△339	△339
為替換算調整勘定	△539	△542
退職給付に係る調整累計額	△1,066	△904
その他の包括利益累計額合計	△1,585	△1,265
非支配株主持分	100	97
純資産合計	75,972	75,135
負債純資産合計	99,378	97,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	17,249	14,574
売上原価	10,115	8,343
売上総利益	7,133	6,231
販売費及び一般管理費		
給料	1,442	1,407
賞与引当金繰入額	423	447
役員賞与引当金繰入額	9	10
退職給付費用	251	276
荷造及び発送費	573	578
販売促進費	320	199
減価償却費	241	182
その他	1,891	1,688
販売費及び一般管理費合計	5,154	4,791
営業利益	1,979	1,439
営業外収益		
受取利息	16	20
受取配当金	69	47
その他	23	21
営業外収益合計	109	89
営業外費用		
支払利息	11	10
租税公課	2	2
為替差損	175	49
その他	7	4
営業外費用合計	197	66
経常利益	1,891	1,461
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	118	—
過年度関税還付額	—	59
特別利益合計	119	59
特別損失		
固定資産廃棄損	3	4
減損損失	21	—
特別損失合計	25	4
税金等調整前四半期純利益	1,985	1,516
法人税等	562	422
四半期純利益	1,422	1,093
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,421	1,096

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	1,422	1,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△495	159
為替換算調整勘定	△215	△2
退職給付に係る調整額	137	162
その他の包括利益合計	△574	318
四半期包括利益	848	1,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	852	1,416
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,985	1,516
減価償却費	640	621
減損損失	21	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△959	△944
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△33
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△16	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	89	123
受取利息及び受取配当金	△86	△68
支払利息	11	10
為替差損益(△は益)	△11	△26
固定資産廃棄損	3	4
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
過年度関税還付額	—	△59
投資有価証券売却損益(△は益)	△118	—
従業員預り金の増減額(△は減少)	381	374
売上債権の増減額(△は増加)	638	2,207
たな卸資産の増減額(△は増加)	△254	△643
仕入債務の増減額(△は減少)	△86	△300
未払消費税等の増減額(△は減少)	41	△154
その他の資産の増減額(△は増加)	38	△163
その他の負債の増減額(△は減少)	242	10
小計	2,524	2,468
利息及び配当金の受取額	106	82
利息の支払額	△14	△13
法人税等の支払額	△999	△368
過年度関税の還付額	—	59
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,616	2,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,507	△0
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,077	500
有形固定資産の取得による支出	△948	△1,348
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△38	△48
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	13	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△403	△878

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,929	△2,248
非支配株主への配当金の支払額	△1	—
リース債務の返済による支出	△60	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,990	△2,313
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△887	△996
現金及び現金同等物の期首残高	22,190	21,849
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	11
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,303	20,864

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	5,570	10,984	693	—	17,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,570	10,984	693	—	17,249
セグメント利益又は損失(△)	1,345	1,354	△71	△649	1,979

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△649百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△649百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	4,156	9,831	586	—	14,574
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,156	9,831	586	—	14,574
セグメント利益又は損失(△)	732	1,349	△22	△620	1,439

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△620百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△620百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

②報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より業績管理区分の見直しを行い、報告セグメントの損益算定方法について、一部変更をしております。従来「オフィス機器」及び「インダストリアル機器」に配分しておりました事業化が不確定な研究開発に係る費用については、本社管理部門に係る費用と同様に、セグメント利益又は損失の調整額に全社費用として計上しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。